

米国株式信用取引 & 取引別人気銘柄ランキング

2022年8月10日（水）

楽天証券株式会社

株式・デリバティブ事業部

紙田 智弘

業界初！米国株信用取引サービス開始

楽天証券では7月9日から米国株の信用取引サービスを開始！

※米国株式信用取引をおこなうには、外国株式信用取引口座の開設が必要です。

※信用取引口座の開設には口座開設基準がございます。

注文受付
7/9開始

米国株式
信用取引

いよいよスタート！



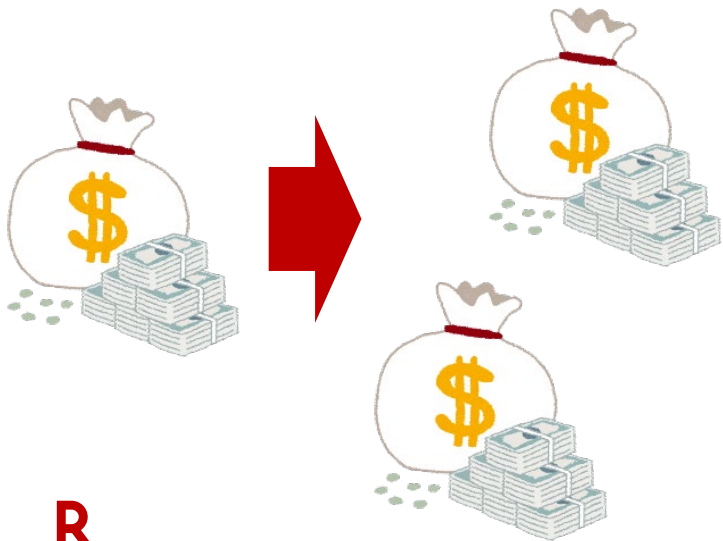
米国株式信用取引を活用するメリット

- ✓ 現物取引ではできない取引ができる！
- ✓ 相場状況に合わせてさまざまな投資戦略が立てられる！
- ✓ 資金効率よく資産運用ができる！

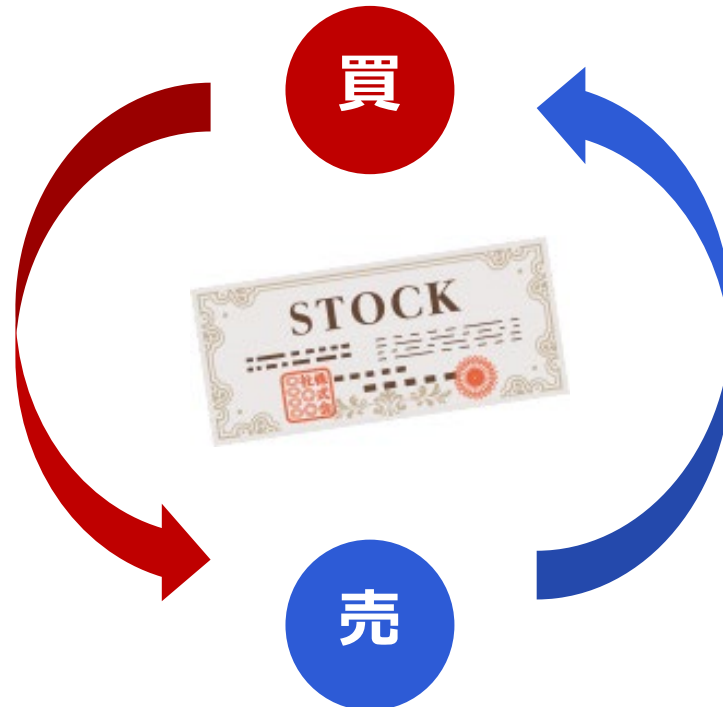
米国株式信用取引の3つのメリット

✓ レバレッジ効果

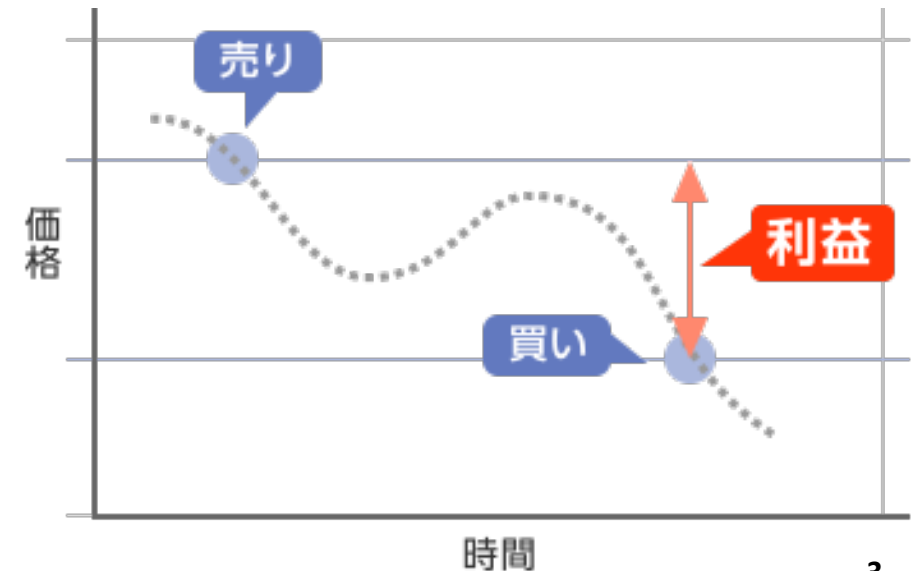
元手資金 最大2倍の取引



✓ 1日に何度も売買可能

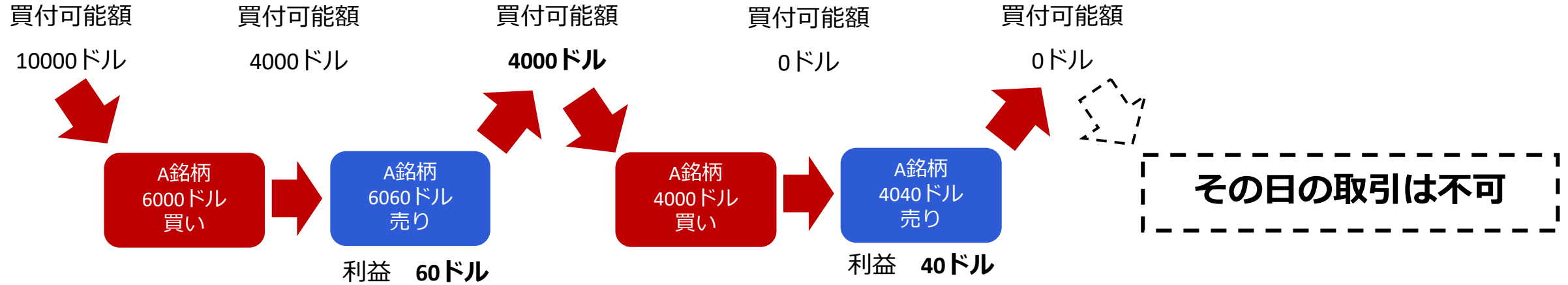


✓ 「売り」から取引を始められる

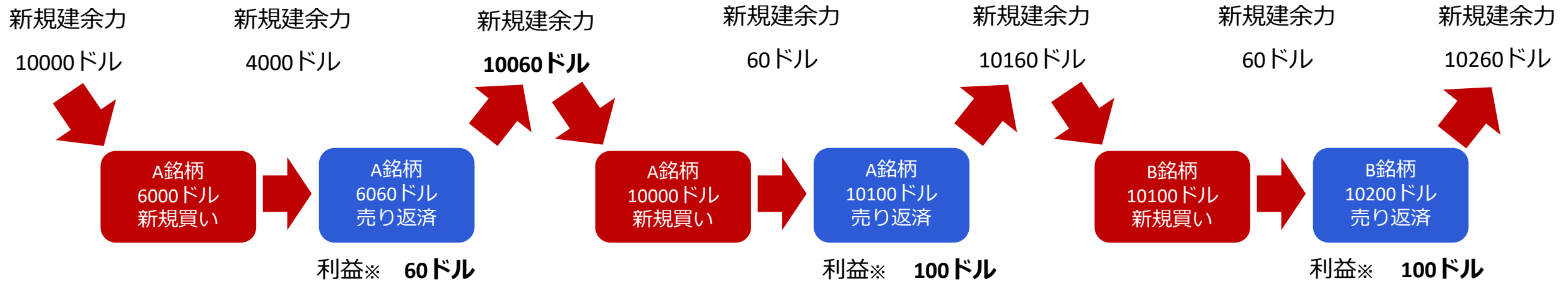


1日に同一資金で何度も売買できる！

■ 現物取引



■ 信用取引



信用取引の注意点

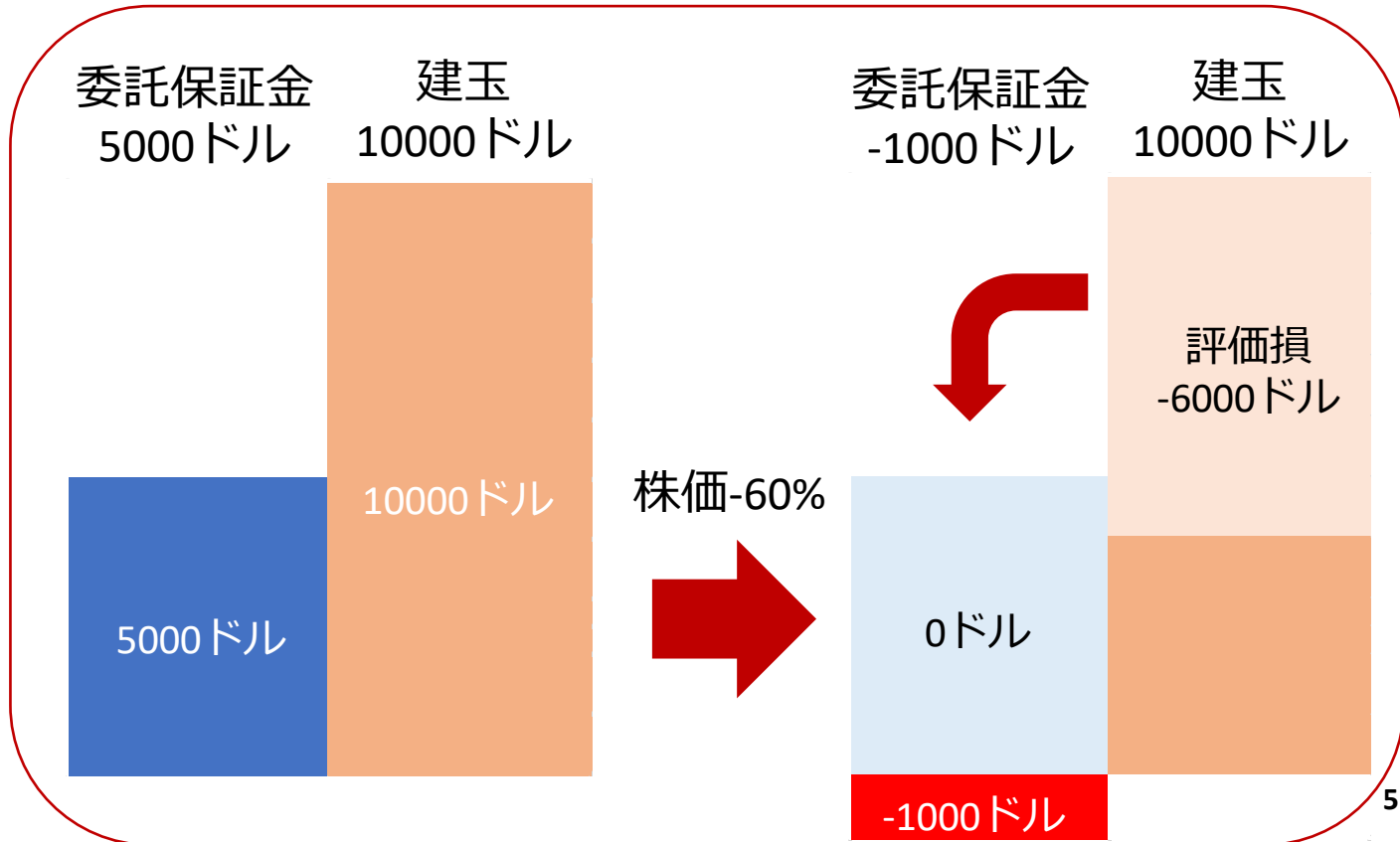
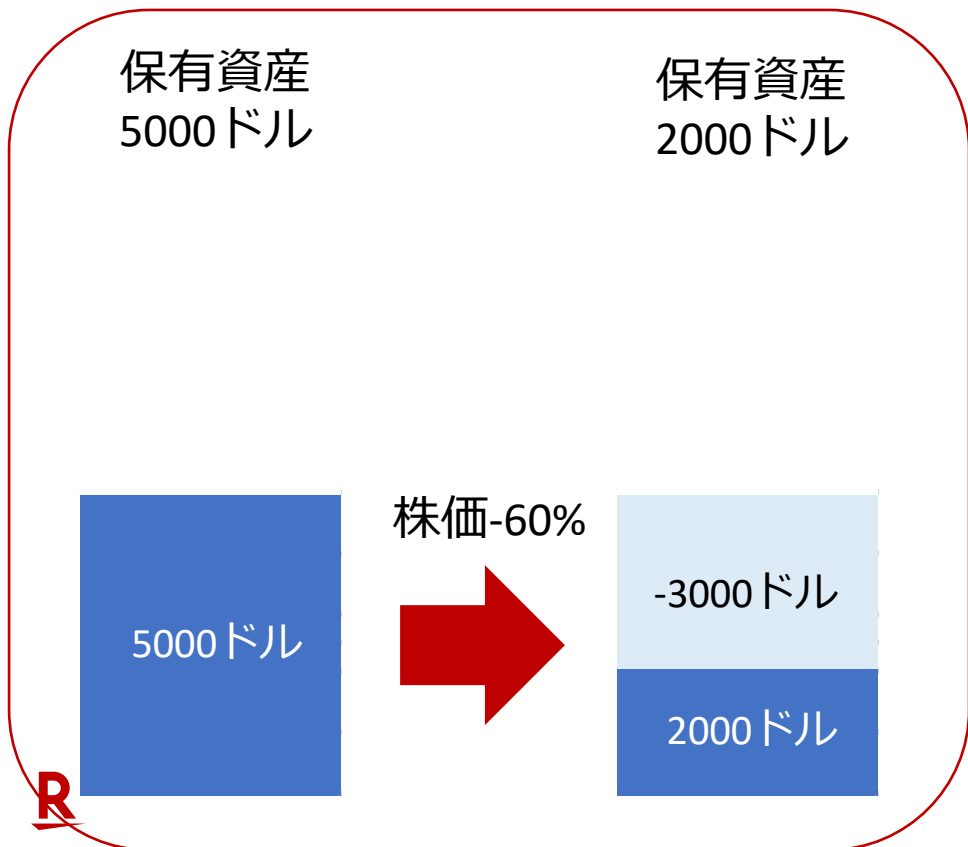
- ✓ 元手資金以上の損失が発生する可能性がある。
- ✓ 売建の場合、損失は無限大（株価は上がり続ける可能性があるため）。

信用取引を行う場合は、

- ・ 余裕を持った投資（損失がでても自分の資金でカバーできる範囲内での投資）が重要！
- ・ 自分のルール（損切ルール等）を決めておくことも大事！

【現物取引】

【信用取引】



楽天証券 米国株式信用取引の基本ルール

	米国株式	国内株式
信用種類	一般信用取引「無期限」	制度信用取引 一般信用取引「無期限」 一般信用取引「短期」 一般信用取引「いちにち信用」
取引種類	買建、 売建、現引、現渡	
決済方法	外貨決済 (現引・現渡のみ円貨決済可能)	円貨決済
取引チャネル	PCウェブ、 iSPEED、マーケットスピードⅡ	PCウェブ、iSPEED、 マーケットスピード、マーケットスピードⅡ
取扱銘柄	日本証券業協会のガイドラインを満たす銘柄から当社が選定 買建：837銘柄、売建：91銘柄 ※8月9日時点	制度信用：証券取引所が定める銘柄 一般信用：当社選定銘柄
最低委託保証金	30万円相当額 (当社が指定する計算方法で算出)	30万円
委託保証金率	50%	30%
最低委託保証金率	30%	20%
自動ロスカット	あり (保証金率が10%以下となった場合)	なし (当社の任意)
保証金現金	米ドル 日本円 (95%評価)	日本円
代用有価証券	米国株式 (70%評価)	国内株式 (80%評価) 投資信託 (80%評価)

米国株式信用取引にかかる費用

信用取引は取引手数料のほか、建玉を保有している間、金利（買建）や貸株料（売建）がかかります。

	信用取引	現物取引
取引手数料	約定代金× 0.33% （税込） （最低0米ドル※1、上限16.5米ドル（税込））	約定代金× 0.45% （税込） （最低0米ドル、上限22米ドル（税込））
金利（買建）	基準金利※2 + 3.5%（年率） 8月は 4.5% （年率）	—
貸株料（売建）	通常 2.0% （年率） 8月はキャンペーンで 1.0% （年率）	—

※1：最低手数料が無料になるお取引は、約定代金が3.33米ドル以下のお取引のみとなります。約定代金が3.34米ドル以上のお取引には、「約定金額×0.33%（税込）」（最大16.5米ドル（税込））の手数料が適用されます。当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。

※2：基準金利は、市場動向を見て当社が定めます。毎月の基準日時点で基準金利に変更があった場合、当社ウェブサイトにて告知のうえ、翌月から変更後の金利を適用いたします。

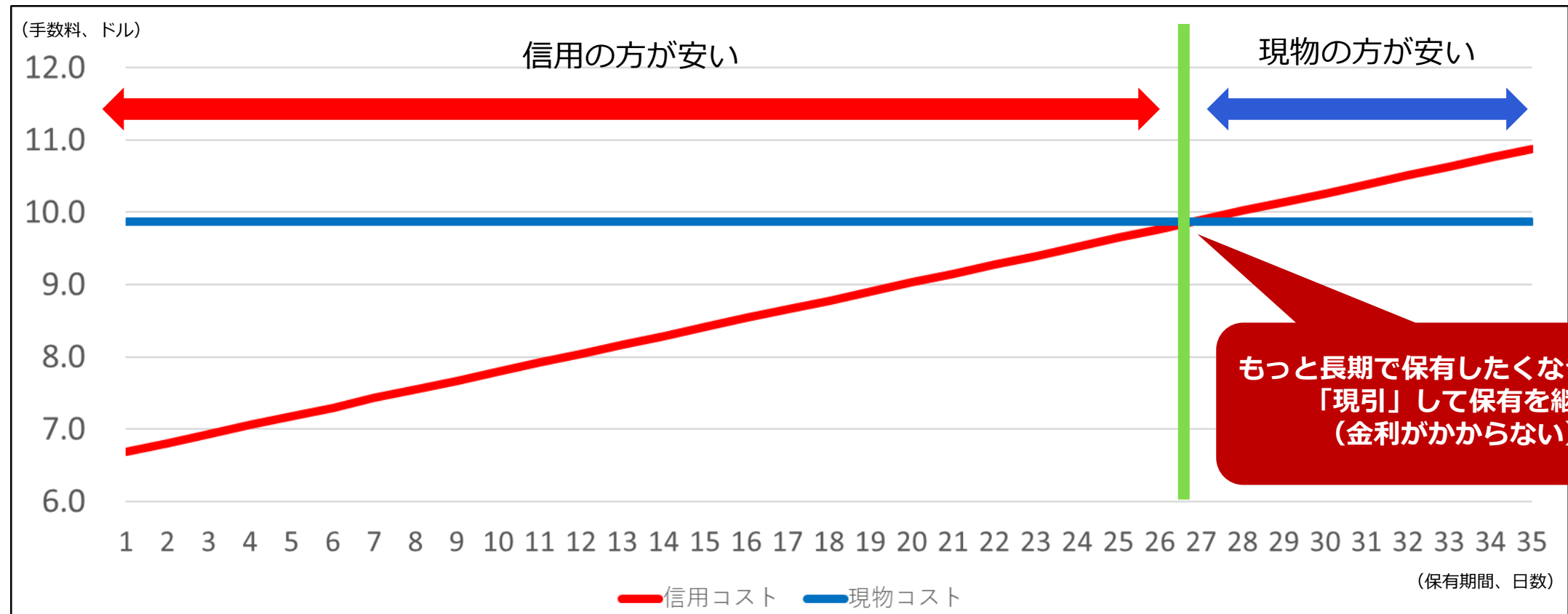
米国株 現物vs信用コストはどっちが安い？

【前提】買付時、売却時の約定代金が1000米ドルと仮定

- ・現物取引手数料（買い、売り）：約定代金×0.495%（税込） = 片道4.95米ドル
 - ・信用取引手数料（買建、返済）：約定代金×0.33%（税込） = 片道3.3米ドル
 - ・信用買方金利：4.5%（年率）で計算 = 1日あたり0.12米ドル
- ※金利、SECfeeは2022年8月9日時点の数値で計算

上記前提では、27日未満で返済（売却）すると信用取引の方がコストが安い！

※現物と信用のどちらのコストが安くなるかは、建玉金額や保有期間によって変わります。



楽天証券

米国株信用取引の活用メリット

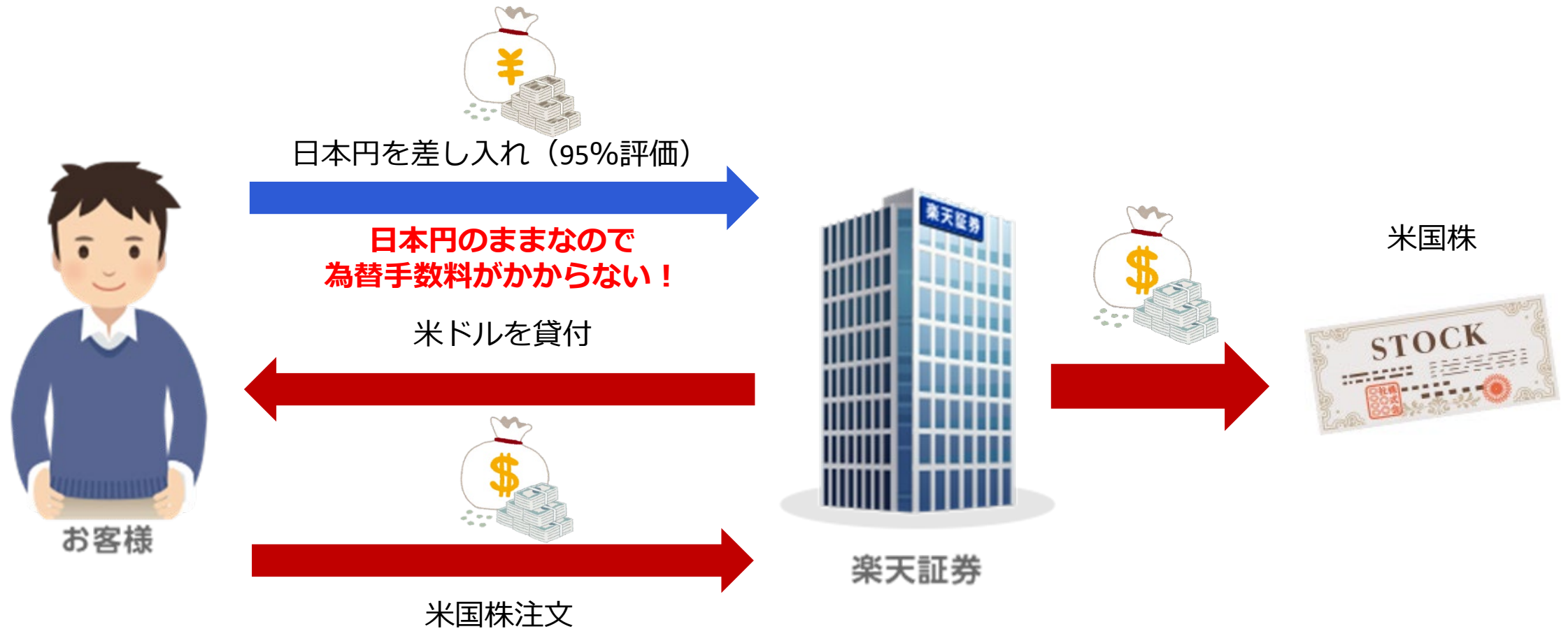
1. 委託保証金を日本円で差し入れ：米ドルの準備不要！
2. 代用有価証券：現物株式の有効活用！
3. 信用取引でもポイントが貯まる！

自分の資金を米ドルに変えずに米国株投資

■ 楽天証券の米国株信用取引

日本円を委託保証金として差し入れることができる！ (95%評価)

⇒ **為替手数料なしで米国株投資ができる！**



代用有価証券の活用

- ✓ 現物で保有している米国株式を委託保証金として差し入れることができる！
 - ✓ 手元に資金がなくても、他の米国株取引ができる！
- ⇒ 効率よく資産運用できる！



米国株信用取引でもポイントが貯まる！

お取引すればするほど**ポイント**がたまる！

超割 ポイントプログラム

国内株はもちろん、外国株、先物・オプションの
手数料**1%**ポイントバック！

米国株信用取引
(手数料コースは「超割」に設定)



取引手数料の1%
ポイントバック



楽天市場などで
お買い物



ポイント投資

- ・米国株式
(現物、円貨決済)
- ・国内株式
- ・投資信託



楽天証券 米国株式売買代金ランキング

【現物取引】

【信用取引】

【積立】 ※累計設定金額

	ティッカー	銘柄名
1	SOXS	Direxion デイリー 半導体株 ベア 3倍 ETF
2	SOXL	Direxion デイリー 半導体株 ブル 3倍 ETF
3	TSLA	テスラ
4	TECS	Direxion デイリー テクノロジー株 ベア 3倍 ETF
5	NVDA	エヌビディア
6	SPXS	Direxion デイリー S&P 500 ベア 3倍 ETF
7	AAPL	アップル
8	TECL	Direxion デイリー テクノロジー株 ブル 3倍 ETF
9	VOO	バンガード・S&P 500 ETF
10	WEBS	Direxion デイリー ダウ・ジョーンズ・インターネット ベア3倍 ETF

	ティッカー	銘柄名
1	NVDA	エヌビディア
2	TSLA	テスラ
3	RBLX	ロブロックス
4	META	メタ・プラットフォームズ
5	AAPL	アップル
6	AMD	アドバンスト・マイクロ・デバイス
7	LI	リー・オート
8	COIN	コインベース
9	ENPH	エンフェーズ・エナジー
10	NIO	ニオ

	ティッカー	銘柄名
1	VTI	バンガード・トータル・ストック・マーケットETF
2	VOO	バンガード・S&P 500 ETF
3	VYM	バンガード・米国高配当株式ETF
4	SPYD	SPDR ポートフォリオS&P 500 高配当株式ETF
5	HDV	iシェアーズ コア米国高配当株ETF
6	VT	バンガード・トータル・ワールド・ストックETF
7	QQQ	インベスコQQQ 信託シリーズ1
8	VIG	バンガード・米国増配株式ETF
9	SPY	SPDR S&P 500 ETF
10	AAPL	アップル

楽天証券 米国株式売買代金ランキング (ETF除く)

【現物取引】

【信用取引】

【積立】 ※累計設定金額

	ティッカー	銘柄名
1	TSLA	テスラ
2	NVDA	エヌビディア
3	AAPL	アップル
4	AMZN	アマゾン・ドット・コム
5	META	メタ・プラットフォームズ
6	MSFT	マイクロソフト
7	XOM	エクソンモービル
8	OXY	オキシデンタル・ペトロリアム
9	GOOGL	アルファベット クラスA
10	AMD	アドバンスト・マイクロ・デバイス

	ティッカー	銘柄名
1	NVDA	エヌビディア
2	TSLA	テスラ
3	RBLX	ロブロックス
4	META	メタ・プラットフォームズ
5	AAPL	アップル
6	AMD	アドバンスト・マイクロ・デバイス
7	LI	リー・オート
8	COIN	コインベース
9	ENPH	エンフェーズ・エナジー
10	NIO	ニオ

	ティッカー	銘柄名
1	AAPL	アップル
2	KO	コカ・コーラ
3	MSFT	マイクロソフト
4	TSLA	テスラ
5	JNJ	ジョンソン・エンド・ジョンソン
6	NVDA	エヌビディア
7	PG	プロクター・アンド・ギャンブル
8	BRK B	バークシャー・ハサウェイ クラスB
9	T	AT&T
10	META	メタ・プラットフォームズ



(出所) 楽天証券内米国株式取引データより楽天証券作成 (2022年7月1日~7月29日の売買代金上位10銘柄)

積立は2022年8月9日時点の設定金額上位10銘柄

信用取引口座開設で200ポイント

2022年8月31日までに信用取引口座（国内株・米国株※）の開設が完了したお客様全員にもれなく200ポイントプレゼントするキャンペーンを実施中！
エントリーは不要！

※すでに信用取引口座（国内株）を開設済みのお客様も信用取引口座（米国株）の開設完了でキャンペーンの対象となります。



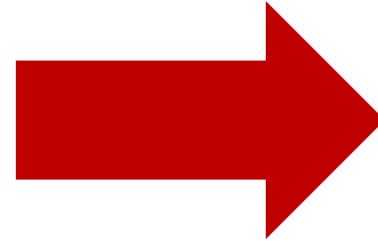
信用取引口座の開設で
もれなく200ポイント
プレゼント

信用取引口座開設対象期間：
2022年6月19日（日）～2022年8月31日（水）までの開設分

【売建デビュー応援】貸株料引き下げキャンペーン

キャンペーン対象期間中の米国株式信用取引の貸株料を通常2.0%から1.0%に引き下げます。
すべてのお客様が対象です！（エントリー不要！）

通常貸株料
2.0%（年率）



キャンペーン期間中
1.0%（年率）



対象期間：2022年8月1日（月）～10月3日（月）国内約定分

※日本時間2022年7月29日（金）22:30～9月30日（金）5:00までの約定分

※8月3日（水）～10月5日（水）の間の売建玉に適用。（キャンペーン前からの保有分も対象）

米株信用取引 売建デビュー応援
貸株料年率1%引き下げキャンペーン

貸株料 (年率) **2%** >> **1%** (年率)

対象期間：2022年8月1日(月)～2022年10月3日(月) 国内約定分

米国株式入庫キャンペーン

キャンペーン期間中に、他社から当社へ米国株式を移管（入庫）していただいたお客様にもれなく200ポイントをプレゼント！（エントリー不要！）

さらに、同期間中に米国株式を移管（入庫）していただいたお客様は、入庫月以降～キャンペーン期間終了までの間の米国株式の現物および信用取引の取引手数料（税込）の80%をキャッシュバック！

※法人、IFA（金融商品仲介業）のお客様は本キャンペーンの対象外とさせていただきます。

※同時期に同一商品を対象としたキャンペーンやプログラムを開催している場合には、重複して特典を受けることはできません。

※特典付与作業時点で総合取引口座を閉鎖されているお客様、またはIFA口座に転換済みのお客様は本キャンペーンの対象外となります。

米国株式の移管(入庫)で
もれなく200ポイントプレゼント!

さらに 米国株式を取引すると
取引手数料(税込) 80%キャッシュバック

★ ★ ★ 対象期間：2022年7月25日(月)～2022年11月30日(水) ★ ★ ★

參考資料

【参考】銘柄ガイドライン

日本証券業協会ガイドライン

以下の (1) (2) の日本証券業協会のガイドラインを満たす銘柄のうち、各社が選定する銘柄

(1) 以下の指数組み入れ銘柄

- NYダウ
- S&P500
- NASDAQ100

(2) 上記 (1) 以外で以下の条件を満たす銘柄

対象銘柄

- ① NYSE、Nasdaq Global Market、Nasdaq Global Select Market、NYSE Arca (ETFに限る) 上場銘柄
- ② 基準日の属する月の前月の**平均時価総額が50億ドル以上**である銘柄
- ③ 基準日の属する月の前月から起算して6か月間の米国市場における1日当たりの**平均売買代金が5000万ドル以上**である銘柄
- ④ 基準日時点で、上場日から起算して30日経過している銘柄 (ただし、ETFを除く)
- ⑤ 基準日の属する月の前月の**平均株価が10ドル以上**である銘柄
- ⑥ 基準日時点で、上場廃止となりうる事実が公表又は予定されていない銘柄
- ⑦ ETFについては、上記 (2) ①から⑥の基準に加え、その運用の対象を有価証券とし、その投資信託財産の一口当たりの純資産額の変動率を上記 (1) に掲げる指数 (当該指数と構成銘柄の大部分が一致する指数 (構成銘柄の株価から算出される数値と正の一倍に連動するものに限る。)) を含む。) の変動率に一致させるよう運用する銘柄

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

投資にかかる手数料等およびリスク

【外国株式等の取引にかかるリスク】

外国株式等は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

【レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点】

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- 上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

【米国株式の信用取引にかかるリスク】

米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

投資にかかる手数料等およびリスク

【外国株式等の取引にかかる費用】

〔現物取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

分類 取引手数料

米国株式 約定代金の0.495%（税込）・最低手数料：0米ドル・上限手数料：22米ドル（税込）

中国株式 約定代金の0.275%（税込）・最低手数料：550円（税込）・上限手数料：5,500円（税込）

アセアン株式 約定代金の1.10%（税込）・最低手数料：550円（税込）・手数料上限なし

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。

※米国株式の売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

※中国株式・アセアン株式につきましては、カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎの場合、通常の手数料に2,200円（税込）が追加されます。

〔米国株式信用取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引手数料

約定代金の0.33%（税込）・最低手数料：0米ドル・上限手数料：16.5米ドル（税込）

※当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。

※売却時（信用取引の場合、新規売建/売返済時）は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

- 米国株式信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。
- 米国株式信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は当社が指定する30万円相当額、新規建て時に最低必要な委託保証金率は50%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が30%です。委託保証金の保証金率が30%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。

ETF/ETNのリスク（抜粋）

【複雑な商品設計のETF/ETNについての注意点】

ETF/ETNの中には、ボラティリティ指数先物を対象としたETF/ETNやカバードコール戦略を取り入れたETF/ETNなど、先物取引やオプション取引を組み入れている場合があります。そのようなETF/ETNは、先物のルールによる価格変動、対象指数等そのものの急激な値動き等によって想定外の値動きをする場合があります。

また、レバレッジ型ETF/ETNやインバース型ETF/ETNは、原指標の日々の変動率に一定の倍数を乗じて算出されるレバレッジ型指標に連動するよう運用されます。そのため、値動きや想定されるリターンは、通常のETF/ETNとは異なる特性を有しています。

複雑な商品設計のETF/ETNに投資される際は、商品設計を開示書類等でご確認していただき、十分ご理解していただいた上で投資をしてください。

【ETFにおける信用リスク】

リンク債型ETFやOTCデリバティブ型ETFなどにおいては、ETFが投資に用いるリンク債の発行体またはETFのOTCデリバティブ取引の相手方の財務状況の悪化などにより基準価額が大きく下落する信用リスクが存在します。これらのETFの投資にあたっては、商品設計を予めご確認する必要があります。

【ETN発行体の信用リスク】

ETNは、裏付となる資産を保有せず、発行体となる金融機関の信用力をもとに価格が特定の指標に連動することを保証する債券です。そのため、発行体の倒産や財務状況の悪化、信用格付の引き下げ等の影響により、ETNの価格が下落または無価値となる可能性、また、償還時に発行体が償還金額を支払わない、または支払うことができない可能性があります。このような結果、損失が生じる可能性があります。

【早期償還等のその他のリスク】

市場動向の急変時や資産総額が小さくなった場合など、管理会社等が運用の継続が困難であると判断した場合は、運用を終了し、繰り上げ償還をする可能性があります。取引所が定める上場廃止基準に該当した場合は、上場廃止となる可能性があります。

詳細は、当社HPの「ETF/ETNのリスク」をご覧ください。

Rakuten 楽天証券